

マスクの正しいつけ方



正しい着用

プリーツを上下にひらき、マスクを広げる。顔にあて、ノーズフィッター部分が鼻筋にフィットしたら、顔にフィットさせながら耳かけゴムを耳にかける。



着用したマスクを額にかける

顎についたウイルスなどの飛散物がマスクの内側についてしまう恐れがある。



鼻がでている

自分の咳などが飛散しない効果はあるが、鼻からのウイルスの侵入を防げない可能性がある。



サイズが合っていない

マスクと皮膚の隙があいってしまったら、口や鼻を十分に保護できない。



マスクの外側を頻繁に手で触る

マスクに付着したウイルスが、手に移ってしまう可能性があります。



マスクのはずし方

マスクの表面にウイルスなどの飛散物が付着している可能性があります。耳にかけるゴムの部分を持ってはずします。



食事などでマスクをはずす時は、顔に触れる面を内側に折りたたみ、清潔なビニールなどにしまいましょう。

マスクは正しくつけてこそ効果があります。
マスクの正しいつけ方を知り、感染症を予防しましょう。

北里大学